

県中教育

随想

私が考える「学び」とは

県中教育事務所 次長(業務担当)兼学校教育課長 酒井 宏尚



皆さんは「学び」とは何だ
 と思いますか。私は「学び」
 とは人生を豊かにするツール
 であると考えています。人生
 には仕事、生活、知的好奇心
 など様々な要素が絡み合い、
 時間だけが平等に流れていき
 ます。それをより良いものに
 しようと計画を立てても修正
 を重ねなければならず、人生
 はとても難解です。人生とう
 まく付き合っていくために必
 要なこと、それが「学び」で
 す。

これらは「学び」を得る過
 程で培うスキルセットで人生
 にとつて非常に役立ちます。
 「分解する力」があれば、手
 に負えないことも理解できる
 範囲まで細分化できます。「段
 取る力」があれば、分解した
 課題を限られた時間に配分
 できます。「体力」があれば、
 配分した課題を計画通りに消
 化でき、より良い環境に近づ
 けることができます。

これら三つのスキルが「学
 び」を得ることとどのよう
 つながるのかというと、学習
 過程で自分自身の理解が高ま
 り、現状の自分に足りない部
 分の補足ができます。例えば、
 自身の考え方の癖を把握して
 いれば、学習課題の大きさと
 自分が対処可能な学習課題の
 大きさを合わせることででき
 ます。自身が心地よいと感じ
 る学習方法を把握していれ
 ば、限られた時間内で効率よ
 く課題を配分することができ
 ます。自分のストレスを感じ
 るポイントを把握していれ
 ば、学習の最中に適宜休憩を
 とり、円滑に課題を進められ
 ます。

このスキルを得るはじめの
 一歩は決して難しくありませ
 ん。国語、社会、数学、理科、
 英語といった基本的かつ教科
 書的な学習から入ることがで
 きます。例えば、テストで良
 い点を取るためにはまず教科
 書の内容を理解しなければな
 りません。理解とは、点で存
 在する知識同士を紐付けし自
 分なりの抽象を捉えることで
 す。どんな事柄であっても一
 度で抽象を取り出すことは困
 難です。理解しようとは度々
 相対するうちに前述した三つ
 のスキルが育つてゆくの
 です。

眼前に広がる事象の大小を
 問わず、そこから何か得るも
 のを探すことは人生をより豊
 かにする営みを実践している
 ことに他なりません。「学び」
 の過程で得られたスキルは、
 誰にも取られることのない大
 きな財産となります。そして
 それは何歳からでも育て始め
 ることができます。

編集・発行
 福島県教育庁
 県中教育事務所
 発行責任者
 齋藤 仁道
 編集協力
 県中市町村教委連各支会
 県中各地区小中学校長協議会

地の利、人の利を生かす

玉川村教育委員会教育長 岡崎 寛人



福島空港を擁する玉川村
 は、豊かな自然に恵まれた人
 口六千人ほどの村です。「さ
 らなし」など数々の特産品の
 開発に加え、地域振興事業と
 してさまざまなイベントを開
 催し、ここ数年交流人口が増
 加しています。

私は、常々地域との関わりを
 大切にしている。コロナ禍では、
 外部との交流が閉ざされた時
 期もありましたが、今年度か
 らは様々な行事が解放される
 ようになり、より一層の地域
 との交流が活発化しています。

これは、玉川村が須賀川市、
 郡山市、白河市を通勤圏にと
 らえ、あぶくま高原道路、国
 道118号線、水郡線など交
 通の便に恵まれており、人の
 集まりやすい玉川村の持つ
 「地の利」を生かすことに他
 ならないのです。さらに、人
 々の感覚も古きに縛られるこ
 とはなく、新しいことに積極
 的に取り組もうとする意欲に
 あふれています。まさに「人
 の利」といえるでしょう。

私は、昨年の四月から教育
 長に就任しましたが、生涯に
 わたり学ぶ楽しさを味わうこ
 とができる教育行政に力を注
 ぎたいと思っています。先の
 教育長が立ち上げた園小中の
 連携教育を引継ぐとともに、
 社会教育との連携を図りなが
 ら、地域人材を活用し、世代
 を超えた交流と学習環境を作
 り上げたいと思っています。

須釜中学校に四年、泉中学校
 に一年、そしてその二つが統
 合した玉川中に二年です。統
 合の際には、この村の人たち
 の学校に対する地域の思いを
 たくさん聞かせていただきま
 した。だれもが学校を地域の
 宝として大切にしています。

村政の合い言葉に「選ばれ
 る村づくり」というものがあ
 ります。「地の利、人の利」を
 生かし、その実現に向けて努
 力したいと思っています。

教育関係各種表彰

「先生の授業はつまんない。初任の時、生徒から投げかけられたこの言葉に、ものすごい衝撃が走りました。怒りよりも恥ずかしさと情けなさいっぱいになり、その生徒に何も言うことができませんでした。その時から「目の前の子ども達に損はさせたくない。」という思いで、自分に力がない分、授業づくりはもろろんのこと、学級経営や生徒指導など自分なりに努力をしてきたつもりです。さらに、これまでの教職人生の中で、多くの子ども達、先輩や同僚、そして保護者・地域の方々など、たくさん素晴らしい出会いがあり、貴重な経験もさせていただきました。その中から多くのことを学び、教員として何とかこれまで勤めることができました。先日、新聞を見たということで、あの時の生徒から突然連絡がありました。その生徒は、当時のことを今も気にかけており、謝罪したいとのことでした。私は彼に素直な気持ちを伝えました。「ありがとう」と。



「先生の授業はつまんない」
郡山市立金透小学校
校長 近藤 静雄



「出会いに感謝」
郡山市立開成小学校
校長 橋本 一弥

昭和六十一年に大学卒業と同時に教職に就いたものの、当初は、授業する教科の多さやそれぞれの教科の奥の深さに圧倒され、また、学級経営の難しさに悩み、満足な指導ができない日々を送っていました。「何とか一人前の教員になりたい。」と研究論文を書きながら自己研鑽に励んだ日々を思い出します。勤務させていた七校と二回の教育行政機関において、多くの児童、保護者や地域の皆様、そして先生方、行政の皆様とのよい出会いがあり、温かい声をかけていただき、前向きに仕事に取り組む源であり、教員人生の宝だと思っています。その大きな節目に身に余る表彰をいただきました。心より光栄に感じていきます。この期間、頂いたご恩を少しでもお返しできるよう、教員としていきたいと思います。努力していきたいと思いま

- ◆秋の叙勲◆
 - 瑞宝双光章 根本 保男
 - ◆文部科学大臣表彰◆
 - 地方教育行政功労者 阿部 晃造 大千里義市
 - 小学校教育功労者 鈴木 和一
 - 子供の読書活動優秀実践校・図書館・団体 郡山市立守山小学校
 - 優良PTA 郡山市立芳山小学校 父母と先生の会
 - 「家庭教育支援チーム」の活動の推進に係る文部科学大臣表彰 郡山市家庭教育支援チーム「のびのび子育てサポーター」 津田 智
 - 社会教育功労者 郡山家庭教育を支援する会会長
 - 優秀教職員
 - 郡山市立金透小学校 主幹教諭 佐藤 正命
 - 須賀川市立第一中学校 養護教諭 花井 千春
 - 田村市立大越中学校 教諭 山本恒河沙
 - ◆福島県教育委員会等表彰◆
 - 学校教育功労者 近藤 静雄 橋本 一弥 増子 春夫 鈴木 俊二 芳人

県事業推進校紹介

令和五年度キャリア教育推進事業「キャリア教育モデル校」としての取組について

田村市立船引南中学校

本校は昨年度より、キャリア教育モデル校の指定を受け、研究を進めてきました。昨年度は、テーマを「学級活動を基盤としたキャリア教育の挑戦」とし、学級活動を通して生徒が自ら動き出す姿を目指しました。生徒主体の話し合い活動を重ねていくことで、自分たちで意見を出し合い活動しようとするなど、意欲の高まりが見られました。今年度は、「自己決定をして自主的に行動したり、相手と合意形成をして協働したりする、生徒が主体となる活動」を、各教科や特別活動、道徳、総合的な学習の時間などの教育活動全体に広げ、研究を推進してきました。

十一月二日に実施した実践研究発表会では、各学年の学級活動の授業を公開し、それぞれ設定した議題をもとに話し合いを行いました。授業では、生徒がお互いに意見を出し合い、合意形成をしていく姿が見られました。担任教師は活動を見守り、最後まで生徒同

士で話し合いを行いました。参観していただいた先生方からは、「学級全体が、話しやすい環境になっているのが素晴らしい。」「教師の待つ姿勢が、生徒の主体性を育んでいるのではないか。」という感想をいただきました。

これまでの実践より、学校の教育活動全体でキャリア教育を推進したことで、生徒たちの自主的・実践的に活動しようとする意識が高まり、自分たちの学校を自分たちで創り上げようとする意欲の向上が感じられました。今後は、生徒たちがこれまでに身に付けた力を実生活の中で生かしていく場を設定し、さらに意欲を引き出すことができるよう、研究を深めていきたいと考えています。



県中教育事務所よりお知らせ

総務社会教育課 社会教育担当より

「ふくしまを

十七字で奏でよう

絆ふれあい支援事業

本事業は、子どもたちの豊かな心を育むために、平成十四年度より実施されていいます。今年度の応募総数は四万六千七百七十八組で、県中域内からは八千九百二十九組の応募がありました。「絆部門」では、家族や友人などとの何気ない会話に目を向けたことで生まれた感謝の気持ちや改めて感じた相手への思いを表現した作品が、「ふるさと部門」では、「ふくしま」の復興への願い、震災の記憶の継承に向けた想いなどを表現した作品が数多く寄せられました。

最終選考の結果、県中域内から最優秀賞一組、優秀賞二組、佳作四組の作品が入賞しました。また、県中教育事務所独自の学校賞として、二十七校一園を、奨励賞として十五組を表彰しました。

今年度も素晴らしい作品を多数御応募いただき、ありがとうございます。県中域内の表彰の様子や入賞作品は県

中教育事務所のホームページに掲載していますので、ぜひ御覧ください。

【県 最優秀賞】

ぼっぽつと ばあちゃんだけには
須賀川市立第二中学校 一年 遠藤かのん
話せちゃう
聞くだけで 孫の表情 柔らかに
祖母 遠野 初江

【県 優秀賞】

「丸つけて」 「おなかせいたよ」
須賀川市立義務教育学校稲田学園 二年 森藤 心陽
ママをよぶ
キッチンで ペンと箸もつ 二刀流
母 森藤 由香里

じいちゃんの 福島なまり 元氣出る
小野町立小野小学校 六年 根本 藍
「めんごいな」 祖父のことばを 真似る子ら
母 根本 亜紀

【県中域内 学校賞】

- 郡山市立金透小学校
- 郡山市立富田東小学校
- 須賀川市立柏城小学校
- 須賀川市立大森小学校
- 石川町立石川小学校
- 玉川町立須釜小学校
- 浅川町立浅川小学校
- 古殿町立古殿小学校
- 田村市立大越小学校
- 田村市立船引南小学校
- 三春町立三春小学校
- 三春町立岩江小学校
- 三春町立中郷小学校
- 三春町立沢石小学校

- 小野町立小野小学校
- 郡山市立明健中学校
- 郡山市立郡山第四中学校
- 須賀川市立第一中学校
- 須賀川市立第二中学校
- 須賀川市立西袋中学校
- 石川町立石川中学校
- 玉川町立玉川中学校
- 平田町立ひらた清風中学校
- 浅川町立浅川中学校
- 田村市立船引中学校
- 須賀川市立
- 義務教育学校稲田学園
- 福島県立聴覚支援学校 中学部
- たまかわクックの森

総務社会教育課 総務担当より

「扶養」について

「扶養」には、所得税法上の控除対象扶養親族、共済組合の被扶養者、扶養手当上の扶養親族があり、それぞれ扶養対象となる範囲、収入要件の基準が異なりますので注意が必要です。

収入基準の考え方については、所得税の場合、年間の総所得額が基準内かどうかで判断しますが、扶養手当と共済組合の被扶養者については、雇用契約等による収入見込額や月々の収入ベースで判断し

ますので、毎月の収入額が基準の範囲内かどうか確認が必要となります。

また、扶養親族が失業給付を受給することとなった場合、所得税法上は非課税所得となり、年間の所得額に加えませんが、扶養手当、共済組合の被扶養者の場合は、基準額を超える失業給付を受給することとなった場合は、減認定となります。扶養親族に収入がある場合は、それぞれの要件を満たしているか随時確認をお願いいたします。

学校教育課 管理担当より

講師募集について

令和六年度の講師募集について多くの方に志願していただきました。しかし、令和六年一月十日現在で、来年度の必要見込数を下回っており、講師不足が懸念されます。県教育委員会及び県中教育事務所では、必要な講師数を確保するために、ハローワークの



活用、ペーパーチャーターのための相談会（二回実施）など様々な取組をしております。

講師には、「三つの任用形態」があります。

○任期付職員（三年以内の任用可能な教職員）

○臨時的任用職員（一年以内の期限付で任用される教職員。県中地区の講師のうち、ほとんどがこの配置）

○会計年度任用職員（一会計年度を超えない期限で任用される非常勤の教職員。週三〜四日程度の勤務）

このうち、臨時的任用職員と会計年度任用職員のさらなる志願者の確保が必要な状況です。講師募集は随時行っておりますので、現在講師をしているが、まだ来年度の志願を行っていない方や講師に関する情報をお持ちの方など、お気軽に県中教育事務所管理担当者にお問い合わせください。

（TEL〇二四一九三五―一四八九）

